

平成24年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年4月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ケイブ

コード番号 3760 URL <http://www.cave.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 伊藤 雅仁

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 山家 英雄

四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5366-3116

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第3四半期の業績(平成23年6月1日～平成24年2月29日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第3四半期	1,896	△17.4	△200	—	△202	—	△317	—
23年5月期第3四半期	2,297	—	426	—	419	—	390	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第3四半期	△14,872.05	—
23年5月期第3四半期	19,011.47	18,837.36

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第3四半期	1,727	1,287	73.8
23年5月期	2,177	1,423	65.0

(参考) 自己資本 24年5月期第3四半期 1,274百万円 23年5月期 1,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,550	△16.6	△260	—	△270	—	△390	—	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期3Q	22,215 株	23年5月期	21,027 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年5月期3Q	470 株	23年5月期	470 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期3Q	21,378 株	23年5月期3Q	20,557 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興に伴う回復基調が高まったものの、タイの大洪水による被害や、欧州の金融危機や世界経済の減速懸念など先行き不透明な状況が継続致しました。

当社の属するオンラインエンターテインメント市場におきましては、携帯電話、PCによるブロードバンド接続の普及が引き続き進んでおり、特にスマートフォン(高性能携帯電話)においては、2012年度に携帯電話販売台数の5割(約4,000万台)に達すると予測(注1)されるなど新たな潮流となっております。

また、家庭用ゲーム市場が停滞する一方、当社が主に属するSNS(ソーシャルネットワークサービス)を中心とするソーシャルゲーム市場では、2008年度に49億円であった国内ソーシャルゲーム市場が、2011年度は2,570億円、2012年度には3,429億円に拡大する見通し(注2)がなされるなど、今後も市場拡大が見込まれております。

(注1) 株式会社シード・プランニングによる予想

(注2) 株式会社矢野経済研究所による予想

このような環境のもと、当社におきましては、国内最大級のソーシャルネットワークサービスを運営するグリー株式会社と資本・業務提携を行い、一層の事業推進体制を構築するとともに、スマートフォン対応アプリや海外市場を視野に入れたアプリの研究開発と開発体制の強化を積極的に行ってまいりました。

しかしながら、コンシューマー事業における家庭用ゲームソフトの販売低迷や、不採算事業の整理、縮小を進めた結果、当第3四半期累計期間の業績においては、売上高1,896百万円(前年同期比17.4%減)、営業損失200百万円(前年同期は426百万円の営業利益)、経常損失202百万円(前年同期は419百万円の経常利益)、四半期純損失317百万円(前年同期は390百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントにつきましては、従来「ソーシャルメディア・アプリ事業」「インフォメーションプロバイダー事業」「オンライン事業」「ゲーム開発事業」の4報告セグメントに分類して開示しておりましたが、第1四半期会計期間に事業の集約化、経営の効率化を目的とした組織変更が行われたため、報告セグメントを「インタラクティブ事業」「コンシューマー事業」「ライセンス&イベント事業」に変更しております。

以下に記載のセグメント業績の前年同期比は、変更後のセグメント区分で組み替えた前年同期実績を基に算出しております。

各セグメントの概況は、以下のとおりです。

《インタラクティブ事業》

インタラクティブ事業におきましては、グリー株式会社のGREE、株式会社ディー・エヌ・エーのMobage(モバゲー)に提供しておりますSNS向けソーシャルゲームの「しろつく」やオンラインゲーム「真・女神転生IMAGINE」等の既存コンテンツにおいて一定の収益が確保できたものの、新規PC向けブラウザゲームの「麻雀鹿鳴館」等が収益化にいたりませんでした。費用面におきましては、ゲームのクオリティ向上を重視した結果、研究開発費が前年同期に比べ増加致しました。

以上の結果、当事業における売上高は1,746百万円(前年同期比10.8%減)、セグメント利益は192百万円(前年同期比68.7%減)となりました。

《コンシューマー事業》

コンシューマー事業におきましては、今後の市場環境を勘案し、スマートフォン向けコンテンツの開発に注力するため、従来予定していたコンシューマー向けタイトルの変更及び中止を決定し、開発体制の変更を進めてまいりました。

以上の結果、当事業における売上高は59百万円(前年同期比73.6%減)、セグメント損失は77百万円(前年同期は100百万円のセグメント利益)となりました。

《ライセンス&イベント事業》

ライセンス&イベント事業におきましては、当社ソーシャルゲーム「しろつく」や「北斗の拳百万の救世主伝説」と連動したコレクションカード「しろつくコレクションカード第二弾」「北斗の拳 百万の救世主伝説リアルコレクションカード第0弾」を全国区にて展開するなど、新たな収益源として販路の拡大やノウハウの蓄積を先行して行ってまいりましたが、収益化にはいたらず、加えて当社コンシューマー向けゲームのグッズに対する整理を行い、その結果商品評価損25百万円を計上致しました。

以上の結果、当事業における売上高は90百万円(前年同期比20.7%減)、セグメント損失は60百万円(前年同期は20百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べて449百万円減少し1,727百万円となりました。これは、現金及び預金205百万円、受取手形及び売掛金124百万円の減少等により、流動資産が421百万円減少したことと、ソフトウェア39百万円の減少等により、固定資産が28百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べて313百万円減少し440百万円となりました。これは、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)240百万円、未払費用32百万円、未払消費税等31百万円等が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて136百万円減少し1,287百万円となりました。これは、利益剰余金317百万円減少したことと、第三者割当増資等により資本金88百万円、資本剰余金88百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年1月11日に発表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通期個別業績予想数値の修正を行っております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、18,817円41銭です。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,234,592	1,028,942
受取手形及び売掛金	400,459	275,781
商品及び製品	34,320	5,047
仕掛品	21,696	14,047
原材料及び貯蔵品	1,221	978
前渡金	1,050	1,731
前払費用	19,167	17,397
未収入金	268,545	207,964
その他	886	7,984
貸倒引当金	△55,560	△54,634
流動資産合計	1,926,380	1,505,241
固定資産		
有形固定資産		
建物	55,273	56,184
減価償却累計額	△28,423	△31,471
建物(純額)	26,849	24,712
工具、器具及び備品	195,916	194,481
減価償却累計額	△169,109	△172,091
工具、器具及び備品(純額)	26,807	22,389
有形固定資産合計	53,657	47,102
無形固定資産		
商標権	3,576	4,665
ソフトウェア	71,532	32,315
ソフトウェア仮勘定	22,746	—
その他	630	630
無形固定資産合計	98,485	37,611
投資その他の資産		
投資有価証券	20,169	60,077
関係会社株式	7,804	7,804
出資金	836	836
敷金	67,936	65,836
差入保証金	1,930	2,830
投資その他の資産合計	98,676	137,384
固定資産合計	250,819	222,098
資産合計	2,177,199	1,727,339

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,154	440
1年内返済予定の長期借入金	290,964	157,614
未払金	85,499	94,608
未払費用	106,926	74,708
未払法人税等	6,199	3,809
未払消費税等	31,297	—
前受金	49,906	42,976
預り金	7,628	6,585
未払配当金	2,060	991
流動負債合計	588,638	381,735
固定負債		
長期借入金	165,154	58,406
固定負債合計	165,154	58,406
負債合計	753,792	440,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,527	874,251
資本剰余金		
資本準備金	729,167	817,890
資本剰余金	729,167	817,890
利益剰余金		
利益準備金	870	870
その他利益剰余金		
別途積立金	10,000	10,000
繰越利益剰余金	△63,587	△381,522
利益剰余金	△52,717	△370,652
自己株式	△46,876	△46,876
株主資本合計	1,415,099	1,274,612
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△299	△371
評価・換算差額等合計	△299	△371
新株予約権	8,607	12,958
純資産合計	1,423,407	1,287,198
負債純資産合計	2,177,199	1,727,339

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)
売上高	2,297,714	1,896,812
売上原価	855,623	916,471
売上総利益	1,442,091	980,340
販売費及び一般管理費		
回収費	438,044	408,966
広告宣伝費及び販売促進費	96,747	97,430
役員報酬	73,450	62,520
給料及び手当	76,067	106,543
研究開発費	116,518	288,175
地代家賃	18,123	19,303
運賃	1,017	704
支払手数料	30,257	23,204
その他	165,569	173,712
販売費及び一般管理費合計	1,015,796	1,180,560
営業利益又は営業損失(△)	426,294	△200,220
営業外収益		
受取利息	165	186
業務受託手数料	540	540
出資金運用益	152	—
受取手数料	—	2,207
為替差益	—	171
前受金消却益	—	2,391
その他	2,317	3,858
営業外収益合計	3,175	9,355
営業外費用		
支払利息	10,094	4,588
為替差損	157	—
株式交付費	—	7,347
その他	—	92
営業外費用合計	10,251	12,028
経常利益又は経常損失(△)	419,218	△202,893
特別利益		
新株予約権戻入益	180	144
関係会社株式売却益	1,500	—
特別利益合計	1,680	144
特別損失		
固定資産除却損	8,464	—
事業整理損	9,215	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,050	—
減損損失	—	113,160
特別損失合計	28,730	113,160
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	392,168	△315,909
法人税、住民税及び事業税	1,350	2,025
法人税等合計	1,350	2,025
四半期純利益又は四半期純損失(△)	390,818	△317,934

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	ソーシャル メディア・ アプリ事業	インフォ メーション プロバイダ ー事業	オンライン 事業	ゲーム開発 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	834,151	424,646	702,443	336,473	2,297,714	—	—	2,297,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	834,151	424,646	702,443	336,473	2,297,714	—	—	2,297,714
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	272,812	173,759	170,408	119,450	736,430	△16,165	△293,970	426,294

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業開発に係る研究開発費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△293,970千円は、主に管理部門に係る人件費および経費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	インタラク ティブ事業	コンシュー マー事業	ライツ& イベント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,746,714	59,886	90,211	1,896,812	—	1,896,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,746,714	59,886	90,211	1,896,812	—	1,896,812
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	192,721	△77,556	△60,124	55,040	△255,260	△200,220

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△255,260千円は、主に管理部門に係る人件費および経費であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は従来「ソーシャルメディア・アプリ事業」「インフォメーションプロバイダー事業」「オンライン事業」「ゲーム開発事業」の4報告セグメントに分類して開示しておりましたが、第1四半期会計期間に事業の集約化、経営の効率化を目的とした組織変更が行われたため、報告セグメントを「インタラクティブ事業」「コンシューマー事業」「ライセンス&イベント事業」に変更しております。

変更後の事業区分による前第3四半期累計期間のセグメント情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	インタラク ティブ事業	コンシュー マー事業	ライセンス & イベント事 業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,957,104	226,835	113,774	2,297,714	—	—	2,297,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,957,104	226,835	113,774	2,297,714	—	—	2,297,714
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	615,467	100,495	20,467	736,430	△16,165	△293,970	426,294

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業開発に係る研究開発費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△293,970千円は、主に管理部門に係る人件費および経費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「インタラクティブ事業」セグメントにおいて、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスであるコンテンツについては、各資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては113,160千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年8月24日を払込期日とする第三者割当増資を実施し、第1四半期会計期間において資本金が88,265千円、資本準備金が88,264千円増加しました。主にこの要因により当第3四半期会計期間末において資本金が874,251千円、資本剰余金が817,890千円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。